

令和 2 年度 事業計画書

[1] 学術講演会・研究会および講習会等の開催事業（公益目的事業 1）

1. 学術講演会の開催

- ・第 116 回日本食品衛生学会学術講演会を下記のとおり行う。

開催日 2020 年 9 月 3 日、4 日

場 所 長崎大学（長崎市）

参加予定者数 約 600 名

2. 特別シンポジウムの開催

- ・第 23 回特別シンポジウムを行う。

[テーマ：未定]

開催日 未定

場 所 未定

- ・ブロックイベントを行う予定。

各 6 ブロックで開催予定。

[テーマ：未定]

開催日 未定

場 所 未定

3. 公開講演会

- ・創立 60 周年記念公開講演会を行う

開催日 令和 2 年 6 月 15 日

場 所 日本橋公会堂ホール（東京都中央区）

内 容 日本の食文化と発酵」（仮） 小泉武夫（東京農大）

4. 関連学（協）会との連携および協力

- ・日本食品衛生学会・日本食品微生物学会・日本食品化学学会主催

「ifia JAPAN 2020 食の安全・科学フォーラム 第 19 回セミナー&国際シンポジウム」

を下記のとおり行う。

開催日 令和 2 年 4 月 22 日

場 所 東京ビッグサイト 青海展示会場内

内 容

第一部 食品の輸出入に伴う規格基準と国際整合性

第二部 穀物の衛生管理

- ・関連学会等との共催、協賛および後援を行う

〔2〕学会誌等の発行（公益目的事業2）

- ・学会誌等を下記のとおり発行する。

食品衛生学雑誌（6冊）	第61巻2号～6号	発行部数	2,050部
	第62巻1号	発行部数	2,150部
食品・食品添加物等規格基準（抄）		発行部数	1,000部
第116回学術講演会要旨集		発行部数	1,000部

〔3〕研究業績に対する表彰事業（公益目的事業3）

- ・令和2年度日本食品衛生学会賞等授賞式を第116回学術講演会において下記のとおり行う。

「学会賞受賞者」

穂山 浩（国立医薬品食品衛生研究所）「食品表示と自然毒等のレギュラトリーサイエンス研究」

一色賢司（一般財団法人 日本食品分析センター）「微生物制御とその関連技術の開発に関する研究」

「学術貢献賞受賞者」

林谷秀樹（東京農工大学大学院）「食品における病原性エルシニア菌の生態の解明と高感度迅速検出法の開発」

- ・食品衛生学雑誌第60巻論文賞授賞式を第116回学術講演会において下記のとおり行う。
「ストロンチウム抽出カラムを用いた緊急時に適用可能な食品中のストロンチウム 90（Sr-90）迅速分析法の確立 <報文>」第60巻第2号 p.7～15 鍋師裕美* 堤 智昭 松田りえ子 蜂須賀暁子 穂山 浩 国立医薬品食品衛生研究所

「東京都で流通する食肉から分離された大腸菌の薬剤耐性 <報文>」 第60巻第3号 p.45～51 西野由香里* 下島優香子 森田加奈 井田美樹 福井理恵 黒田寿美代 平井昭彦 新藤哲也 貞升健志 東京都健康安全研究センター

「LC/Tribid Orbitrap による強壮系健康食品中の Phosphodiesterase-5 阻害薬および構造類似体の分析 <報文>」 第60巻第4号 p.96～107 坂本美穂*¹ 蓑輪佳子¹ 岸本清子¹ 中嶋順一¹ 鈴木 仁¹ 守安貴子¹ 深谷晴彦² 斉藤貢一³ ¹ 東京都健康安全研究センター ² 東京薬科大学 ³ 星薬科大学

〔4〕若手研究者育成事業（公益目的事業4）

- ・令和2年度厚生労働科学研究（食品の安全確保推進研究事業）の若手研究者育成事業の公募に応募し採用された場合、補助事業者として若手研究者を採用する。

〔5〕 その他

- ・ 会員の相互扶助事業については令和2年度から事業を開始し、下記の内容で実施する。
 1. 会員限定「学術小集会：FHS コミュニティ」
年数回の開催を目標とする。
 2. 会員限定のメルマガを配信する。
 3. 論文作成に関する相談会を開催する。
- ・ 創立60周年記念事業
 1. 記念式典 令和2年6月15日 15:00～ 日本橋公会堂
 2. 祝賀会 令和2年6月15日 17:30 三笠会館
 3. 功労賞10名、感謝状28社を表彰する。
 4. 食品衛生学雑誌記念号
- ・ 感謝状の贈呈
会員歴20年年齢80歳以上 2020年4月1日現在の対象者下記に感謝状を贈呈する。
正会員 篠田澄男

〔6〕 総会・理事会の開催予定

- ・ 令和2年度総会を下記のとおり行う。

開催日	令和2年6月15日（予定）
場 所	日本橋公会堂（東京都中央区）
議 案	令和元年度事業報告および同決算報告

- ・ 4月、5月、10月、2月に理事会を行う。